



100年後を生きる
世界中の子どもたちに
届けられる教育とは？

世界共通 教育宣言

世界の分断を日本からくいとめるために！

世界の子どもの
義務教育の
15%に、
世界共通の
地球と人間についての
学びを導入しよう！

- 子どもの義務教育の中に、“地球”と“人間”についての共通教育を導入しよう。学びの15%くらいから、出発する。
- いま、教育と軍拡はゼロサムゲームをしている。年間200兆円もかけて賢い人を作り、ほぼ同額を使っていかにも多くの人を殺すか準備・実践しているのが現実だ。世界全体が見えれば、愚かなことだとわかる。
- 世界には大きく分けて3つの文化圏(=価値体系)がある。
法律重視のリーガルコード、人間関係重視のモラルコード、神の教え重視のレリジャスコード。
- 解決に向かうには、まだ正義に感応できる子どもに、2つの学びを加えることを提唱したい。
1つは、自分が属さない文化圏も含めて世界中の主な価値観がわかる7つのプログラムを体験すること。私たちが情熱を傾けてつくったモデルだ。
2つ目は世界目線をもつこと。世界全体を1つのプラットフォームと見たり、100年後の子どもにどんな教育を伝えたいか考えてほしい。そうした能力を“宇宙からの目”をもつ、と呼びたい。子どもとその背後にいる大人も、“宇宙からの目”を心に持ち、みんなで<未来の法則>をみつけよう。15%の教育を世界共通にすることは、不可能ではない。いま決意しなければ、すべてを失うことになる。